

人権委 通信

No. 116

2018. 5

発行者

近畿大学人権委員会

春期人権講演会開催について

春期人権講演会を下記の要領にて実施します。学生・教職員の積極的なご参加をお願いします。

◆統一テーマ

「いのちと絆 ～ダイバーシティ、支えあい、認めあう～」

◆趣 旨

近畿大学人権委員会では、毎年6月と10月、12月の3回にわたり、それぞれ一週間、「人権講演会」を開催しています。

2018年度は、「いのちと絆～ダイバーシティ、支えあい、認めあう～」を統一テーマとして、ますます多様化する社会において、さまざまな人権問題に直面しているなか、お互いに支えあい、その多様性を認めあうことの大切さを一つ一つの課題を通じ、じっくり考えていきます。

第1回目の6月は、同和問題、インターネット上における人権問題、原爆被害の体験談について、ご活躍されている方々をお招きしご講演いただきます。また、2テーマのDVD上映会を用意しております。一人でも多くの学生・教職員のみなさんのご参加をお待ちしています。

6月11日（月） 10：45～ 11月ホール小ホール

開催挨拶

人権委員会 委員長 土屋 孝次

講演会①

6月11日（月） 5時限 16：45～18：15 11月ホール小ホール

演 題 『部落問題の現在を考える』

趣 旨 普段の生活の中で、私たちは身近な人々と部落問題について語り合ったり、議論する機会など、ほとんどないといえるでしょう。そのため、被差別部落に対して誤解や偏見をもっていたとしても、日常生活でそれを口にするこもないため、そうした誤解や偏見が正されることもないのです。今回の講演では、被差別部落に対してどのような誤解や偏見があるのかを検証し、部落問題を学ぶ意義について考えます。

講 師 石元 清英さん（^{いしもと きよひで}関西大学社会学部 教授）

講演会②

6月12日（火） 2時限 10：45～12：15 20号館 第1教室

演 題 『インターネットと人権問題』

趣 旨 インターネットがますます普及し、SNS等の新サービスが次々と導入され、利用が増えるなか、その技術を悪用した差別や人権侵害、フェイクニュースやデマが氾濫するという問題が世界的に深刻化しています。ネット上の差別等の現状と課題、国内外やSNS事業等の差別問題等への対策の状況などについて紹介し、健全な電子空間、実社会の創造に向けて何が必要であるかなどを考えていきたいと思います。

講 師 松村 元樹さん（^{まつむら もとき}公益財団法人 反差別・人権研究所 事務局長）

「人の心を傷つける差別落書き」を発見された時は、人権事務室（旧本館5階）までご連絡ください。
（裏面へ）

講演会③

6月15日(金) 2時限 10:45～12:15 20号館 第1教室

演題『今、被爆者が思うこと～あの日、あの時、そして今～』

趣旨 広島・長崎の原爆による凄まじい惨禍からはや73年が経過。今なお多くの被爆者が放射能による健康障害に苦しんでいます。

何故、原爆を落とさねばならなかったのか、あの時どんな惨状を被爆者は目の当たりにしたのか、その後どのような対応がなされたのか、なにゆえ被爆者であることを隠して生活せざるを得なかったのか等について語ります。

講師 ^{いわもと}岩本 ^{けんぞう}賢三さん (茨木市原爆被害者の会 会長)

DVD上映会①

【日本語字幕】

6月11日(月) 2時限、6月13日(水) 4時限、6月14日(木) 2時限

【英語字幕】

6月12日(火) 3時限・4時限、6月13日(水) 5時限

「珈琲とエンピツ」(上映時間 67分) 2013年

『架け橋』などで知られるろう者の映像作家・今村彩子が、同じろう者であるサーフショップ&ハワイアン雑貨店の店長・太田辰郎との出会いと交流をつづったドキュメンタリー。店を訪れる客にコーヒーを振る舞い、紙と鉛筆、身振り手振りで健常者を相手に会話を楽しむ太田。その姿をカメラから見つめ、徐々に深く接していくうちに、今村監督が障害者として抱えていた怒りや孤独といったネガティブな感情と決別していくさまを映し出す。人と人をつなぐコミュニケーションの在り方、そこから生まれてくる温かくて大きなパワーというものを深く考えさせられる作品。

DVD上映会②

6月11日(月) 4時限、6月13日(水) 1時限・6時限、
6月14日(木) 3時限・5時限、6月15日(金) 1時限

「ETV特集 原爆にさわる 被爆をつなぐ～長崎 戦後70年を生きる被爆二世～」 (上映時間 59分) 2015年

被爆二世には親から被爆体験を聞いたことがない人が少なくない。親自身が思い出したくないと考えていたり、差別や偏見を恐れて口にせなかつたり。そうした中で、どう被爆体験を語り継いでいけばいいのか? 悩む二世たちにとって、大きな転機となったのは、長崎原爆被災者協議会会長の谷口稜嘩(すみてる)さんを訪ね、原爆で焼けただれた「赤い背中」の跡に触れたことだった。被爆の現実を自分たちの言葉で語ろうと動き始めた被爆二世たちの活動を追う。

2018年度 春期人権講演会プログラム (6月11日(月)～6月15日(金))

	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)
1時限 (9:00～)			DVD上映会② 場所: 11月ホール小ホール		DVD上映会② 場所: 20号館第1教室
2時限 (10:45～)	DVD上映会① (日本語字幕) 場所: 11月ホール小ホール	講演会② 場所: 20号館第1教室		DVD上映会① (日本語字幕) 場所: 11月ホール小ホール	講演会③ 場所: 20号館第1教室
昼 休 憩					
3時限 (13:15～)		DVD上映会① (英語字幕) 場所: 2号館実学ホール		DVD上映会② 場所: 11月ホール小ホール	
4時限 (15:00～)	DVD上映会② 場所: 11月ホール小ホール	DVD上映会① (英語字幕) 場所: 2号館実学ホール	DVD上映会① (日本語字幕) 場所: 11月ホール小ホール		
5時限 (16:45～)	講演会① 場所: 11月ホール小ホール		DVD上映会① (英語字幕) 場所: 11月ホール小ホール	DVD上映会② 場所: 11月ホール小ホール	
6時限 (18:25～)			DVD上映会② 場所: 11月ホール小ホール		

講演会① 『部落問題の現在(いま)を考える』

石元清英さん (関西大学社会学部 教授)

講演会② 『インターネットと人権問題』

松村元樹さん (反差別・人権研究所みえ 事務局長)

講演会③ 『今、被爆者が思うこと～あの日、あの時、そして今～』

岩本賢三さん (茨木市原爆被害者の会 会長)

DVD上映会① 『珈琲とエンピツ』 67分 日本語字幕/英語字幕

DVD上映会② 『原爆にさわる 被爆をつなぐ～長崎 戦後70年を生きる被爆二世』 59分